

Victory

NO.10

令和6年2月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

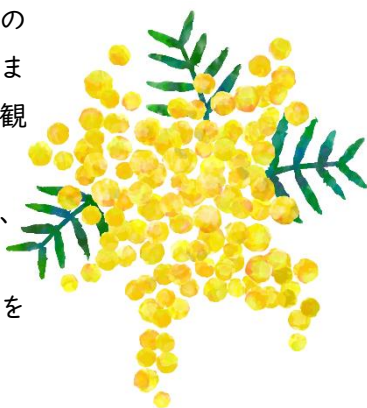
2月も終わります。

毎年のことですが、この時期は高校3年生にとって次のステージに進むための重要な時期なのだと、つい先週まで昼休みや放課後に閲覧スペースで学習する後ろ姿を観ながら感じていました。

私大入試、国公立二次試験とそれぞれの道に向かって、向き合うみなさんの健闘を祈ります。

人生の節目節目で、私たちはみな大なり小なり決断を迫られます。迷いや悩みも含めて、自らの意志で選び決めることを大切にしたいものです。

今、外を歩くとミモザの花の黄色が心を優しく包んでくれます。春はそこまで訪れているのでしょうかね。



本の返却について高校3年生へ

ほとんどの3年生は本の返却を済ませています。まだ未返却者がいます。3月1日（金）卒業式当日までに必ず返却をお願いします。

なお、後期試験等の受験対策で借りている人は、受験終了に合わせて返却してください。

また、返却できない理由がある人は図書館まで相談に来てください。よろしくをお願いします。

2,3月の図書館の展示コーナー

「進路を考える」を応援します

冒頭でも触れましたが、受験勉強に勤しむ高校3年生の姿を目の当たりにして、図書館でもコーナーを作りました。

進路に関する行事を通して、自分が進む道を模索していることと思います。

図書館にもみなさんの進路を応援する情報がたくさんあります。

学部学科に関する本、関連する職業に関する本やDVD、文学を通じたお仕事小説などを展示しています。その他にも、「366職業」「377大学・高等専門教育」などの棚に関連図書が並んでいます。まだまだ先だと思いませんか？決断の時はもうそこまで来ています。この時期に興味関心のある本を読みましょう。



映画化された本特集

3月に図書委員企画の映画上映会を計画しています。今回、本校蔵書の中から60冊前後の映画の原作本を集めて展示しています。この中から、皆さんがもう一度観たい映画の原作本に投票してもらい、票数の多かった本の映画上映会を行います。上映会日程は、来月通信でお知らせします。ぜひ、図書館に足を運んであなたの一票を投じてください。

もちろん、展示している本の貸出も可能です。

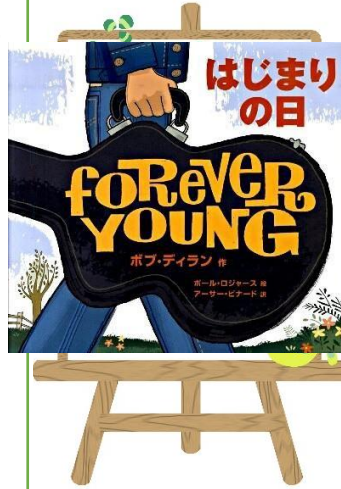


棚からひとつかみ「未来の扉を拓く」

高校3年生の卒業にあたり、図書館からはなむけの本を紹介します。いつかどこかで手にしてもらえると嬉しいです。皆さんのこれからに幸あれ。

『はじまりの日』ボブ・ディラン、ポール・ロジャース著 アーサー・ピナード翻訳（岩崎書店）

2016年ノーベル文学賞を受賞した”フォークの神様”ボブ・ディランの名曲『Forever Young』を絵本化。彼の紡ぎ出す言葉のひとつひとつが、心に染み渡ります。これから社会に出て、自分の足で歩み始めるすべての人にきっと勇気を与えてくれる一冊だと思います。未来を明るく感じる時はもちろん、辛いことや心細いときに、ディランの言葉があなたを優しく包み込むこと間違いなし。



『中村桂子 ナズナもアリも人間も』

（のこす言葉シリーズ）中村桂子著（平凡社）

生命誌の生みの親。言葉を生きる人なのだ、著者の作品を読むと感じます。生命誌という生き物の命の変遷を科学者としての深く鋭い視点から見るとはもとより、その根底には「日常」を大切に生きて感じる優しさとし生けるすべてのものへの無償の愛があふれています。本書は、優しい言葉で語りかけるように、私たちはどう生きるべきかを問うています。さらに、人生の節々で出会った本も取り上げられていてどれも改めて手に取りたくなるものばかりです。改めて、私たちはみな科学する生き物なのだということを教えてください。

分類番号は、**404 ナ**です。
自然科学の棚に配架されています。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

12月の通信で紹介した「第11回高校生直木賞」に今回も本好きの有志4名が集い、ノミネート作品5冊を読み込んでいきます。

4月の地方大会（ZOOM）で本校から候補作1冊を決定し、集った他県の本好きたちと熱いディスカッションをしていきます。地方大会を突破した先には、東京・文藝春秋本社で全国から選ばれた猛者たちと対面でのディスカッションを通し、高校生直木賞にふさわしい1冊を決定します。

今回のノミネート作品は次の5冊。

河崎秋子『ともぐい』（新潮社）第170回直木賞受賞

嶋津輝『襷がけの二人』（文藝春秋）第170回直木賞候補

永井紗耶子『木挽町のあだ討ち』（新潮社）第169回直木賞受賞

万城目学『八月の御所グラウンド』（文藝春秋）第170回直木賞受賞

宮内悠介『ラウリ・クースクを探して』（朝日新聞出版）第170回直木賞候補

毎週水曜日（3/13, 27, 4/10）の放課後に集まって、ノミネート作品について議論していきます。今からでも「参加してみたい」人は、図書館（司書）まで。

宮崎県立図書館のイベント紹介

郷土の作家「中村地平」にふれてみませんか

本県出身の作家であり第23代県立図書館長を務めた中村地平没後60年にあたって作成されたドキュメンタリー映画の試写会です。昨年度本校図書委員が中村地平と塩月桃甫を調べまとめたレポートがHPにアップされています。

日時 2024年3月23日（土）

試写会（午前）10:00～12:00（午後）14:30～16:30

会場 宮崎県立図書館2階視聴覚室 参加費 無料

郷土の作家「中村地平」
Live! Library
一試写会と館歌披露

本県出身の作家で、県立図書館の第23代館長を務めた中村地平（1908～1963年）の功績をたたえ、地平のドキュメンタリー映画の試写会と、地平が奥米清次と共同で制作した県立図書館歌の県内発着による録音（ピアノ伴奏）披露を行います。

2024年
3月23日（土）
試写会（午前）10:00～12:00
館歌披露 13:00～14:00
試写会（午後）14:30～16:30
試写会は午前・午後とも同じ内容です。

会場 宮崎県立図書館2階 視聴覚室（試写会場）
研修ホール（館歌披露会場）

定員 各100名 ※ 試写会は事前予約制（無料）、館歌披露は予約不要です。
参加費 無料

●試写会
今年公開予定のドキュメンタリー映画「中村地平の試写（約90分）」と、館歌「館歌を聴いた図書館員達のアーティスト小松孝義氏によるミニ演奏（約30分）」を予定しています。

●館歌披露
全国的に珍しい図書館歌を、伊東家の松本菜穂氏と県立図書館長でトランペット奏者の伊藤茂貴氏及びピアニストの宮崎まゆみ氏らにより披露するほか、ライブアンサーも予定しています。

関連展示
3月23日（土）～31日（日）の期間、2階特別展示室にて中村地平に関する所蔵資料の展示を開催します。

宮崎県立図書館
問合せ・申込み先 総務・企画課 企画課長
Tel: 0985-28-2111 Fax: 0985-28-2841
Mail: toshikan@ref.miyazaki.lg.jp
宮崎県図書館 〒880-0001 宮崎県宮崎町2-210-1